

# 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
流動資産 [	94,895 ]	流動負債 [	65,319 ]
現金及び預金	3,800	支払手形	419
受取手形	2,496	電子記録債務	5,186
電子記録債権	6,677	買掛金	20,494
売掛金	38,838	短期借入金	29,000
商品及び製品	30,135	1年内返済予定の長期借入金	1,080
未着商品	109	未払金	5,028
前渡金	396	未払事業所税	51
前払費用	286	未払法人税等	279
短期貸付金	8,819	未払費用	1,060
未収入金	2,353	前受金	216
その他	1,147	預り金	2,466
貸倒引当金	△ 164	その他	35
<b>固 定 資 産</b> [	39,487 ]	<b>固 定 負 債</b> [	25,039 ]
有形固定資産 (	4,918 )	長期借入金	18,531
建物及び構築物	1,442	リース債務	82
機械及び装置	2,632	繰延税金負債	1,041
車両運搬具	0	退職給付引当金	2,280
工具、器具及び備品	232	債務保証損失引当金	1,160
土地	573	資産除去債務	136
建設仮勘定	37	長期預り金	833
無形固定資産 (	450 )	長期未払金	309
ソフトウェア	404	関係会社事業損失引当金	613
ソフトウェア仮勘定	36	長期未払費用	51
その他	10	<b>負 債 合 計</b>	90,359
<b>投資その他の資産</b> (	34,118 )	<b>純 資 産 の 部</b>	
投資有価証券	15,321	株主資本 [	40,024 ]
関係会社株式	9,524	資本金 (	2,000 )
関係会社出資金	5,747	資本剰余金 (	29,376 )
長期貸付金	1,675	資本準備金	2,269
固定化営業債権	500	その他資本剰余金	27,107
前払年金費用	2,566	利益剰余金 (	8,647 )
その他	977	利益準備金	141
貸倒引当金	△ 2,194	その他利益剰余金 <	8,506 >
		繰越利益剰余金	8,506
		評価・換算差額等 [	3,998 ]
		その他有価証券評価差額金	3,795
		繰延ヘッジ損益	202
		<b>純 資 産 合 計</b>	44,023
<b>資 産 合 計</b>	134,383	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	134,383

# 損 益 計 算 書

〔 2019年4月 1日から  
2020年3月31日まで 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		212,239
売 上 原 価		190,023
売 上 総 利 益		22,215
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		18,240
営 業 利 益		3,975
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,438	
そ の 他	301	1,739
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	82	
為 替 差 損	73	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	356	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	363	
そ の 他	244	1,120
経 常 利 益		4,595
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1,244	
受 取 補 償 金	300	1,544
特 別 損 失		
関 係 会 社 出 資 金 評 価 損	10,294	
関 係 会 社 事 業 損 失 引 当 金 繰 入 額	613	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	84	
貸 倒 損 失	79	
関 係 会 社 株 式 評 価 損	49	11,121
税 引 前 当 期 純 損 失		△4,981
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,401	
法 人 税 等 調 整 額	475	1,877
当 期 純 損 失		△6,858

## 株主資本等変動計算書

〔 2019年4月 1日から  
2020年3月31日まで 〕

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主 資本 合計	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		評 価 ・ 換 算 差 額 等 計
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計					
当期首残高	2,000	2,269	27,107	29,376	141	16,470	16,612	47,988	9,531	73	9,605	57,593
当期中の変動額												
剰余金の配当						△ 1,105	△ 1,105	△ 1,105				△ 1,105
当期純損失						△ 6,858	△ 6,858	△ 6,858				△ 6,858
株主資本以外の 項目の当期中の 変動額（純額）									△ 5,735	128	△ 5,606	△ 5,606
当期中の変動額合計	-	-	-	-	-	△ 7,964	△ 7,964	△ 7,964	△ 5,735	128	△ 5,606	△ 13,570
当期末残高	2,000	2,269	27,107	29,376	141	8,506	8,647	40,024	3,795	202	3,998	44,023

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### 有 価 証 券

子会社および関連会社株式……………移動平均法による原価法

#### その他有価証券

時価のあるもの……………決算末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は、全部純資産直入法により処理。売却原価は、移動平均法により算定。)

時価のないもの……………移動平均法による原価法

デリバティブ……………時価法

たな卸資産……………主として月別移動平均法に基づく原価法  
(収益性の低下による簿価切下げの方法により算定。)

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### 有 形 固 定 資 産 (リース資産を除く)

……………定額法

#### 無 形 固 定 資 産 (リース資産を除く)

……………定額法 (但し、ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法)

#### リ ー ス 資 産

##### 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### (3) 引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金……………売上債権等に係る貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権及び貸倒懸念債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

退 職 給 付 引 当 金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

過去勤務費用については、発生時における従業員の平均残余支給期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度より費用処理しております。

ただし、確定拠出年金制度移行前の退職従業員の確定給付企業年金制度にかかる数理計算上の差異は、発生時における対象者の平均残余支給期間以内の一定の年数（4年）による定額法により費用処理しております。

債務保証損失引当金……………子会社等への債務保証に係る損失に備えるため、当該会社の財政状態等を勘案して必要額を繰入計上しております。

関係会社事業損失引当金……………関係会社における事業損失等に備えるため、関係会社の財政状態等を勘案し、今後の損失負担見込額を計上しております。

(4) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(5) ヘッジ会計の方法…………… ①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。

②ヘッジ手段とヘッジ対象

(ヘッジ手段)	(ヘッジ対象)
為替予約取引	外貨建営業債権債務 及び外貨建予定取引

③ヘッジ方針

グループ財務規定に基づき、為替変動リスクをヘッジしております。

④ヘッジの有効性評価の方法

原則として、ヘッジ開始時から有効性の判定時点までの期間におけるヘッジ対象及びヘッジ手段の相場変動またはキャッシュ・フロー変動の累計額等を基礎として、有効性を評価しております。

(6) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

連結納税制度の適用……………帝人㈱を連結納税親会社とする連結納税制度を適用しております。

連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用……………  
「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいています。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 資産に係る減価償却累計額

有形固定資産 9,254百万円

(2) 保証債務

他社の銀行借入等に対して行っている保証は次のとおりであります。

Brick Holding GmbH.	6,085百万円
TEIJIN POLYESTER (THAILAND) LIMITED	5,344百万円
TEIJIN THAILAND LIMITED	3,991百万円
THAI NAMSIRI INTERTEX CO., LTD.	2,501百万円
TEIJIN FRA TIRE CORD (THAILAND) CO., LTD.	1,329百万円
日岩帝人汽車安全用布(南通)有限公司	459百万円
㈱センチュリーテクノコア	378百万円
P. T. N. I TEIJIN FRONTIER INDONESIA	272百万円
㈱テイジンアソシアリテイル	228百万円
蘇州考特茨工業紡織品有限公司	99百万円
計	<u>20,686百万円</u>

上記のうち外貨建のもの	円貨額	20,081百万円
	(外貨額)	(3,941百万THB)
		(50百万EUR)
		(36百万RMB)
		(2百万USD)

(注1) 他社が再保証している債務保証については、当社の負担となる額を記載しております。

(注2) TEIJIN FRA TIRE CORD (THAILAND) CO., LTD. の保証債務については、債務保証額から債

務保証損失引当金を控除した金額を記載しております。

(3) 債権流動化に伴う買戻義務限度額	1,485 百万円
(4) 関係会社に対する金銭債権・債務	
短期金銭債権	12,360 百万円
長期金銭債権	1,658 百万円
短期金銭債務	18,029 百万円
長期金銭債務	48 百万円

### 3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	13,816 百万円
仕入高	35,094 百万円
その他の営業費用取引	4,853 百万円
営業取引以外の取引高	2,999 百万円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数	
普通株式	20,002,000 株

(2) 配当に関する事項
配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月14日 取締役会	普通 株式	1,105	利益剰余金	55.26	2019年 3月31日	2019年 5月15日

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当金の効力発生日が翌事業年度となるもの該当事項はありません。

## 5. 税効果会計に関する注記

### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の原因別の内訳

(繰延税金資産)

(単位：百万円)

未払費用	195
未払事業税	98
繰越欠損金	305
商品評価損	105
貸倒引当金	721
退職給付引当金	715
投資有価証券評価損	270
関係会社株式評価損	2,850
関係会社出資金評価損	3,155
固定資産償却超過額	90
債務保証損失引当金	354
関係会社事業損失引当金	187
その他	280
小計	9,332
評価性引当額	△7,650
繰延税金資産合計	1,681

(繰延税金負債)

その他有価証券評価差額金	1,672
前払年金費用	685
土地	162
その他	203
小計	2,723
繰延税金負債合計	2,723
差引：繰延税金負債の純額	1,041

### (2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

税引前当期純損失が計上されているため、記載を省略しております。



## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ①金融商品に対する取組方針

資金運用については短期的な預金を基本とし、資金調達については、主に金融機関からの借入により調達をしております。デリバティブは、後述するリスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

#### ②金融商品の内容及びそのリスク並びに管理体制

営業債権である受取手形、売掛金及び電子記録債権は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクについては、信用管理規程に従い、主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うことにより、財務状況等の悪化等による債権回収懸念の早期把握やその軽減を図っております。なお、外貨建債権は、為替の変動リスクに晒されておりますが、このうち一部は為替予約取引を利用してリスクをヘッジしております。

投資有価証券は、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、時価の変動リスクに晒されております。当該リスクに関しては、定期的に時価や発行体（取引先企業）の財務状況等を把握し、市況や取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。また、貸付金・債務保証契約については定期的に貸付先・債務保証先の財務状況を確認し、信用リスクを管理しております。

営業債務である支払手形、買掛金及び電子記録債務は、1年以内の支払期日であります。なお、外貨建債務は、為替の変動リスクに晒されておりますが、このうち一部は為替予約取引を利用してリスクをヘッジしております。

短期借入金は主に営業取引に係る資金調達であり、長期借入金は主に子会社買収に係る資金調達であります。このうち一部の借入金は変動金利であるため、金利の変動リスクに晒されておりますが、長期借入金については、支払金利の変動リスクを回避し支払利息の固定化を図っております。なお、外貨建借入金については、為替および支払金利の変動リスクに晒されておりますが、金利通貨スワップ取引を利用してリスクをヘッジしております。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）に関しては、各部署からの報告に基づき財務部が適時に資金繰り計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより管理をしております。

デリバティブ取引は、外貨建ての営業債権債務に係る為替相場の変動によるリスクを回避する目的で為替予約取引、外貨建ての借入金に係る為替相場および市中金利の変動によるリスクを回避する目的で金利通貨スワップ取引を行っております。デリバティブ取引の執行・管理については、デリバティブに係わる社内規程に基づいており、財務部が決裁者の承認を得て行っております。また、デリバティブ取引の契約先は、いずれも信用度の高い取引先に限定することで信用リスクの軽減を図っております。

#### ③金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に

算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額 (* 1)	時価 (* 1)	差額
①現金及び預金	3,800	3,800	—
②受取手形	2,496	2,496	—
③電子記録債権	6,677	6,677	—
④売掛金	38,838	38,838	—
⑤投資有価証券	11,886	11,866	—
その他有価証券			
⑥支払手形	(419)	(419)	—
⑦電子記録債務	(5,186)	(5,186)	—
⑧買掛金	(20,494)	(20,494)	—
⑨短期借入金	(29,000)	(29,000)	—
⑩長期借入金 (* 2)	(19,611)	(19,611)	—
⑪デリバティブ取引 (* 3)			
a. ヘッジ会計が 適用されていないもの	6	6	—
b. ヘッジ会計が 適用されているもの	303	303	—

(\* 1) 負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(\* 2) 1年内返済予定の長期借入金を含めております。

(\* 3) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

①現金及び預金、②受取手形、③電子記録債権及び④売掛金

すべて短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

⑤投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。

⑥支払手形、⑦電子記録債務、⑧買掛金及び⑨短期借入金

すべて短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

⑩長期借入金

借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利が反映されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。また、固定金利によるものは、元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた

現在価値により算定しております。

⑩デリバティブ取引

a. ヘッジ会計が適用されていないもの

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	デリバティブ取引の種類等	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	金利通貨スワップ取引	5,403	5,403	6	6
以外の取引	支払固定・受取変動 米ドル受取・円支払				
合計		5,403	5,403	6	6

(注) 時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格によっております。

b. ヘッジ会計が適用されているもの

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等		時価	当該時価の算定方法	
				うち1年超			
原則的 処理方法	為替予約取引						
	売建						
	ユーロ	売掛金	446	—	4	先物為替相場 によっている。	
	バーツ		4	—	0		
	買建						
	米ドル	買掛金	345	—	8		
	ユーロ		100	—	△0		
	人民元		13	—	△0		
	バーツ		7	—	△0		
	英ポンド		0	—	△0		
	為替予約取引						
	売建						
	米ドル	予定取引	2,646	—	31		
	ユーロ		191	—	1		
買建							
米ドル	予定取引	12,378	—	259			
ユーロ		125	—	△1			

	パーツ		26	—	△0	
合計			16,268	—	303	

(注2) 非上場株式(貸借対照表計上額 3,411 百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「⑤投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

(注3) 関係会社株式(貸借対照表計上額 9,524 百万円)及び関係会社出資金(貸借対照表計上額 5,747 百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注4) 金銭債権の決算日後の償還予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
現金及び預金	3,800	—	—	—
受取手形	2,496	—	—	—
電子記録債権	6,677	—	—	—
売掛金	38,838	—	—	—
合計	51,812	—	—	—

(注5) 借入金の決算日後の返済予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
短期借入金	29,000	—	—	—	—	—
長期借入金	1,080	2,328	9,506	6,697	—	—
合計	30,080	2,328	9,506	6,697	—	—

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末 残高
親会社	帝人(株)	被所有 100	製品の購入及び 販売、資金の借 入、役員の兼任	資金の借入	10,000	短期 借入金	10,000
				利息の支払 (注1)	0	-	-
				アラミド繊維 製品等の購入 (注2, 3)	9,551	買掛金	2,409

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 利息の支払については、市場金利を勘案して合理的に決定しております。  
 2. アラミド繊維製品等の購入は、市場価格および一般的な取引条件を勘案して決定しております。  
 3. 取引金額には消費税等を含めておりませんが、期末残高には消費税等を含めております。  
 4. 短期運転資金の借入、取引金額については当期における借入金の残高を記載しております。

(2) 子会社及び関連会社等

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	科目	期末 残高 (注3)
子会社	(株)テイジンア ソシアリティ ル	所有 直接 99.97 間接 0.03	製品の販売 資金の貸付	グループファ イナンス (注1)	411	短期 貸付金	917
						長期 貸付金 (注 4)	1,289
				利息の受取 (注2)	23	-	-
	帝人コードレ (株)	所有 直接 100	製品の販売 役員の兼任 資金の貸付	グループファ イナンス (注1)	2,454	短期 貸付金	2,454
利息の受取 (注2)				17	-	-	

Brick Holding GmbH	所有 直接 100	債務の保証	債務の保証 (注5)	6,085	—	—
TEIJIN POLYESTER (THAILAND) LIMITED	所有 直接 66.87	製品の購入及び販売等 役員の兼任 債務の保証	債務の保証 (注5)	5,344	—	—
TEIJIN THAILAND LIMITED	所有 直接 75.50 間接 24.50	製品の購入及び販売等 役員の兼任 債務の保証	債務の保証 (注5)	3,991	—	—
THAI NAMSIRI INTERTEX CO., LTD.	所有 直接 57.50 間接 23.80	製品の購入及び販売等 債務の保証	債務の保証 (注5)	2,601	—	—
TEIJIN FRA TIRE CORD (THAILAND) CO., LTD.	所有 直接 56.66	債務の保証	債務の保証 (注5、6)	2,488		

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 短期又は長期運転資金の貸付、返済を繰り返しており、取引金額については当期における貸付金の純増加額を記載しております。
2. 利息の受取については、「グループ投融資規程」に基づく料率を基礎として交渉の上、決定しております。
3. 取引金額には消費税等を含めておりませんが、期末残高には消費税等を含めております。
4. 長期貸付金に対し、1,289百万円の貸倒引当金を計上し、当事業年度において前事業年度末日残高から187百万円を繰り入れ、営業外費用に計上しております。
5. 金融機関からの借入に対して債務保証を行っております。なお、取引金額には、債務保証の期末残高を記載しております。債務の保証は、「グループ投融資規程」に基づき決定しております。
6. 債務の保証に関して、当事業年度において363百万円の債務保証損失引当金を追加計上し、同額の債務保証損失引当金繰入額を営業外費用に計上しております。

8. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	2,200円 94銭
1株当たり当期純損失	△342円 90銭